

**記入例** 学習指導案 (公民・公共)

学校名	〇〇立 〇〇高等学校	授業者	△△ △△	実施学年・組	□年 □組
使用教科書	〇〇(〇〇出版社)	補助教材	資料集 △△(△△出版社)		

○生徒観・教材観・指導観

ア 生徒観

- ・多くの生徒は、意見の交換等の活動への取組状況は良いが、他者の意見を参考にして自己の学習の調整を図る活動の経験が乏しく、他者の意見に対して自分の意見との相違のみの把握で終わってしまう事が多い。
- ・公民科の授業に対して、事実的知識の暗記に終始する傾向が強く、事実を基に考察や構想をする活動においても事実の羅列に終始してしまう傾向が見られる。一方で、事実的な知識の習得状況は良く、これらを活用していく能力を身に付けさせることが課題であると思われる。

イ 教材観

- ・現実社会の課題や判例等を基に、これまでの学習で身に付けた事実的な知識や公共的な空間における基本原理を活用し、課題の解決に向けたこれらの知識や技能の活用を目指す。
- ・生徒の生活に即した課題について、様々な立場からの課題の捉え方を意識して、それぞれの幸福や公正、正義について多面的・多角的な考察を通して、公平・公正な調整の方策を考察し、権利や自由の保障や秩序の維持形成の過程についての理解が深まることを期待する。

ウ 指導観

- ・「思考力・判断力・表現力等」の育成のため、前単元までに学習した幸福・正義・公正の考え方や公共的な空間における基本原理、及び本単元の学習内容である法の意義や役割について、身に付けた概念や理論を活用し、対立する意見や利害の公平・公正な調整の方策についての考察を行うため、他者との意見交換を通して、異なる立場や価値観を受容し、自己の意見などの調整を図る場面を設定する。
- ・ここでの活動を、単なる事実や制度の暗記に終わらせることなく、知識を活用しながら考察し、学習を振り返りながら自らの学びを調整し、「学習の調整や粘り強い取組」を継続していくことにつなげていきたい。

○授業の展開

※評価欄には評定に用いる評価を○ 学習改善に用いる評価を●で表記

単元名	B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち (1)主として法に関わる事項						
単元を貫く問い	法的主体などとしてよりよい社会の形成に参画することに向けて、私たちは法をどのように捉えればよいだろうか。						
ねらい	法的主体などとしてよりよい社会の形成に参画することに向けて、幸福、正義、公正などに着目して、問いを設け、他者と協働して主題を追究したり解決したりする活動を通して、憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解できるようにすることを主なねらいとしている						
評価の観点と評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
	法や規範の意義及び役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解していると、ともに、現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。	知識・技能に示された事項について、法の側面に関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。	現実社会の諸課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。				
単元計画 (本時に◎)	次	指導項目	内容	時間数	知	思	主
	第一次 (4時間)	法や規範の意義及び役割	法と基本的人権	1	○		●
			法と自由・平等	2	○	●	
			◎法と豊かな生活	1	●	○	●
	第二次 (4時間)	契約と消費者の権利・責任	契約と法	2	○	●	
			消費者の権利と責任	2		○	
	第三次 (5時間)	司法参加の意義	裁判所と私法	1	○	●	
			国民の司法参加	1	●	○	
			模擬裁判	2		○	●
			単元まとめ	1			○
本大項目B内の中項目(1)～(3)を単元1～3として設定した。 ・単元1 (1)主として法に関わる事項……13時間 ・単元2 (2)主として政治に関わる事項…10時間 ・単元3 (3)主として経済に関わる事項…15時間							

○本時の目標と評価

※評価に用いる評価を○ 学習改善に用いる評価を●で表記

学習内容	新しい人権		
本時の主題	安全で豊かに生活するための権利の保障と対立する意見の公平・公正な調整		
本時の目標	安全で豊かに生活するための権利の保障をめぐる対立について、新しい人権の内容やその根拠となる憲法上の権利を基に、公共的な空間における基本原理やそれぞれの立場における幸福・公正を踏まえ、公平、公正な調整による課題解決の具体的な方策について多面的・多角的に考察する。		
評価	課題(問い)	安全で豊かに生活するための権利の保障について、どのようにすれば対立を公平・公正に調整することができるだろうか。	
	観点	知識・技能	思考・判断・表現 ○
	基準	公共的な空間における基本原理を踏まえ、幸福や公正の考え方を活用し、公平・公正な調整による課題解決の具体的な方策について多面的・多角的に考察している。	
	方法	ワークシート2の「3」における記述	

○授業の展開

※評価欄には評価に用いる評価を○ 学習改善に用いる評価を●で表記

分	指導内容	主な発問や指示	生徒の活動	指導上の留意点	評価の場面と観点		
					場面	知	思 主
導入 15	新しい人権	<p><b>発問1</b> 新しい人権にはどのようなものがあるだろうか。また、それらは日本国憲法に定められているどのような権利を根拠としているだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境権、プライバシーの権利、自己決定権を取り上げ、それぞれの権利が憲法に定められたどの権利に対応しているか調べさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい人権について、憲法の条文を参照しながら、ワークシートにまとめる。(個人の活動)</li> <li>・まとめた意見の発表(意見の共有)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校で学習した内容を踏まえながら、環境権、プライバシーの権利、自己決定権について憲法に定められた権利と関連付ける。</li> </ul>	行動観察	●	
	展開 20	異なる立場での幸福や公正と権利の保障	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図の提示と説明</li> <li>・ワークシート1の配布</li> </ul> <p><b>発問2</b> 図に示された人は、何を求め、こののちどのような行動を起こすと考えられるだろうか。また、その根拠となる考え方や権利は何だろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配布された図のそれぞれの吹き出しにセリフを記入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図に示された人物にとっての幸福とは何かを意識させる。</li> </ul>		
対立の公平・公正な調整		<p><b>発問3</b> 対立を公平・公正に調整するためにはどのようにすればよいだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート2の配布</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図に示された人物は何を求めているのかを考え、予想される行動とその根拠となる権利について調べワークシート1へ記入する。(個人の活動)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対応しているかに留意する。</li> <li>・中学校やこれまでの学習において身に付けた知識を活用して考えさせる。</li> </ul>	ワークシート1	●	
交流による意見の調整		<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ内での意見交流を指示。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの利害の調整や課題の解決の方法について考察し、ワークシート2にまとめる。(個人の活動)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幸福や公正の考え方を活用し、対立の焦点となるものは何かについて考えさせ、どのような対立が起こり、自分は何を重視して課題の解決を図るかを明確にする。</li> </ul>	ワークシート2	●	
まとめ 15	まとめ	<p><b>評価課題</b> 安全で豊かに生活するための権利の保障について、どのようにすれば対立を公平・公正に調整することができるだろうか。</p> <p>◇本時の課題についてまとめよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート2への記入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容や幸福や公正の考え方の活用を促す。</li> </ul>	ワークシート2	○	